

# 令和6年度 浜松市立泉小学校 学校評価報告書

## 1 自己評価

自己評価結果及び考察  
別紙（学校便り）のとおり

## 2 学校関係者評価

2月10日（月）に開催した学校運営協議会において、自己評価結果及び考察について委員に報告。委員からは以下のような意見があった。

### ・子供の健康、安全を守ることについて

- サマータイム日課（7，9月）を設けるのは、とても良いことだと思う。自治会の行事でも夏場は暑いので、場所や時期の変更を考えている。子供たちのためにサマータイム日課を導入することは、良い方向へと改善がされていると思う。
- 鍵がなく家に入れないうちの子がいて、（旗振りをしている）私の家に来た子がいる。自分を守る、命を守るために行動することができ、偉かったと思う。見守りの成果が出たと思った。

### ・子供同士の人間関係づくり（いじめ防止対策）について

- HEROの日という、学校の活動はとても良いことだと思う。でも、誰か一人をヒーローにしてしまう（宣言したことやヒーロー紹介を代表で放送する）と、本来みんながヒーローという意味が薄まってしまうと思う。ヒーローという言葉を使うからには気を付けてほしい。
- いじめは対応が難しい。正解は一つではない。その場その場で対処していく必要がある。
- 学校アンケートの設問にずれがある。子供の3回のアンケートの内容とリンクさせることで子供のアンケートと教員、保護者の評価ができるようになるのではないかと。もし、いじめられている時やいじめられている子を見かけたという時、学校が守ってくれるという安心感があるといい。先生方が頑張っているけど子供や保護者に伝わっていないこともある。子供や保護者にどのように伝わっているか、感じているかをアンケートにするとよいと思う。

### ・保護者との連携について

- 先生と電話で話をすると安心する。こちらから電話するのは勇気がいる。風通しの良いきっかけづくりをしてほしい。
- 休みがちな子に対して、どのように連絡を取っているのか。さくら連絡網ができたことで、欠席した時、先生とのコミュニケーションが少なくなったように思う。保護者から学校への相談は難しい。学校からきっかけや連絡があるとよいと思う。

### ・外部人材の活用について

- ボランティアについて、子供・職員の評価が高くて良かった。

### 3 学校関係者評価を受けて

学校関係者評価を基に、以下の点について改善を図る。

#### ・子供の健康、安全を守ることに

熱中症対策については、子供の命に関わることなので、活動の時期や場所、日課を考えていく。サマータイム日課を導入し昼休みを10分間短くすることで、けがや体調不良をできるだけ防ぐ。また、子供たちの下校時刻を早くすることで放課後の担任の教材研究の時間（週30分間）を捻出する。

#### ・子供同士の人間関係づくり（いじめ防止対策）に

HERO (Help 助ける Empathy 共感する Respect 尊重する Open-mind 心を開く) というゆる「ヒーロー」は別物であることを子供や保護者にも周知し、これまでに行ってきた活動（HERO 宣言、「今日のHERO」・・・帰りの会で「良いこと見付け」をする。

「HEROの日」・・・月1回振り返りをする。「行動宣言」と「HERO」の紹介）の充実を図っていく。

いじめの未然防止の観点から、事後ではなく事前に友好的な人間関係を育成していくことが重要である。引き続き、毎週水曜日の朝活動の時間にエンカウンターを行う。保健室前に相談ボックスがあることも再伝達していく。

道徳科についても子供たちの実態を捉え、その時期に合った価値項目を学校全体で大切にしながら子供たちの心を育てていくようにする。

市の「いじめ対策基本方針」に則り、教育課程の中に「いじめ防止」対策を計画的に取り入れるようにする。全学年で情報モラル講座の実施や定期的な子供面談を計画していく。子供たちがつらい思いを抱え込む前に、日々寄り添った教育を目指していく。

学校評価アンケートの評価項目⑦の内容については、年3回児童に実施しているいじめアンケートとリンクさせて、児童には「いやなことをされたり困ったりしたとき、先生に相談して安心できるようになりましたか。」とし、保護者には「悩みや困りごとがあったとき、学校に相談して安心できるようになりましたか。」という評価内容に変えて評価していただくようにする。

#### ・保護者との連携に

今後も引き続き、さくら連絡網での欠席連絡の返信に終わらず、心配な場合は担任から電話をする。また、欠席した時だけでなく、日頃から本読みカードや連絡帳を通して子供の情報を交換していく。相談事については学校だよりやSC（スクールカウンセラー）教育相談の案内を出す時に相談がある場合はSCに限らず、その子のことをよく知る職員や話しやすい職員等誰に相談してもよいことを載せて周知していく。

#### ・外部人材の活用について

泉小はコーディネーターの紹介で、多くの方が子供たちのために学習を支えてくれている。今後職員からの要望やコーディネーターからの紹介を基に、来年度の学習や活動が充実したものになるよう計画・活用していきたい。